

平成23年度

SEASON 1

平成23年11月 8日



全校児童数

298名

11月 8日 現在

永盛小 学校だより

永遠の杜 No. 12
夢・努力

文責：校長 松本 学



第2学期始業式から約2ヶ月と1週間程たち、肌寒い日が多くなりました。落ち葉が冬の訪れを予感させます。個人積算線量計回収と第2回配布がありました。そんな中、11月も学力の向上、安全指導等力を入れております。

「大震災・原発事故」への応援メッセージ

10月31日(月)鳥取県鳥取市立宮ノ下小学校の児童より、「大震災・原発事故」への応援メッセージが届きました。鳥取市は、郡山市と交流関係を持ち、昨年度は、郡山市内の6年生が鳥取市に視察に出かけました。本年度は、鳥取県の6年生が本市に来る予定でしたが、大震災の影響で、中止になっていました。そこで、応援メッセージです。大変心のこもったメッセージに感動しました。校舎内に掲示しますので、ご来校の際にご覧下さい。



3, 4年生が屋内水泳授業

10月31日(月)11:30~12:30まで、市内のスイミングスクールで第2回目の水泳学習を行いました。

【大変大きなボードで作成】



【1時間を精一杯に泳ぎました】

【心のこもった文】

※「福島っ子体験活動応援プラン」で行うもので、バス代・使用料とも無料です。1時間の許された時間を精一杯に泳ぎました。日頃のストレスを解消するように元気に泳ぎました。

相双地区の管理職訪問がありました。

相双地区等からの転入児童生徒、教職員の状況を把握し、学校との連携により心のケア等の支援の充実を図る目的で双葉町立双葉中学校長、檜葉町立檜葉北小学校長、浪江町立請戸小学校教頭の3名が本校を訪れました。各クラスの授業参観と校長との懇談で約1時間30分を過ごしました。各クラスに在籍している子どもたちの元気な様子に安心してお帰りになりました。

笹川地区のあばれ地蔵



【授業参観の様子】



11月2日(水)17:00~、郡山市指定重要無形民族文化財の「笹川のあばれ地蔵の地蔵つき」が開催され、見学してきました。

【曳き縄をつけて、地面にたたきつける奇祭】

※あばれ地蔵の伝説とそれを今に伝える保存会の方々、育成会の方々の思いを感じてきました。「地蔵つき」後には、笹川公民館で「民話」を聞いたり、歴史的背景を聞いたりして、子どもたちは大変有意義な時を過ごしました。「豚汁」「おむすび」も大変おいしかったです。初めて見る「奇祭」でした。

避難訓練（地震・火災同時発生）

11月4日（金）3校時目、第3回の避難訓練をおこないました。大きな地震後、給食室から火災が発生したとの想定で行いました。



【地震で机の下に避難】



【校庭に避難する子どもたち】



※全児童が校庭に避難し終わったのは、「避難開始」の連絡後、2分44秒でした。
ほとんどの児童が無言で

避難できました。これから、さらに寒くなり、ご家庭でも火を使う機会が多くなります。悲惨な火事をおこさないためにも、火の始末や、火についての約束事を話し合っておいて下さい。また、外出したときの災害にも、普段の話し合いが大切です。

第2回目の親子資源回収

11月6日（日）8：00～、各方部ごとの親子資源回収が行われました。PTA各方可委員の方々には、大変お世話になりました。段ボール、古新聞、アルミ缶などが山のように集まりました。小雨が降るときもありましたが、予定通り実施できましたこと、PTA会員の皆様に感謝いたします。



【集められた資源物を車に積み込む様子】



1, 2年生の自然体験学習

11月7日（月）1, 2年生が生活科の学習で、放射線量のかなり低い猪苗代に体験学習に出かけました。

落ち葉を踏みしめ、紅葉した木々の間を歩き、「秋にどっぷり浸り、思う存分自然を満喫させてやりたいとの担任の願いから実現しました。

「ふくしまっ子体験活動応援事業」が適応されますので、バス代・見学料共に無料です。いなわしろ淡水魚館見学



【いなわしろ淡水魚館で】



【広場で思いっきり走り回りました】



【林内で、落ち葉や木の実を観察する児童】



第2回積算線量計配布

11月7日（月）朝、第2回目の積算放射線量計を希望の児童に配布しました。2ヶ月前のものを回収して、専門機関で積算放射線量を測定します。



自転車による交通事故の防止

○市内で、自転車による交通事故が多発しています。

- ・ヘルメット着用なしでは、自転車は乗らせない。
- ・薄暮時には、運転しない。
- ・交差点や見通しの悪い道路の横断時は一端停止。
- ・スピードを出さない。